

6.2 教育・研究指導のあり方

進捗状況報告

総合政策学部では、初年次の学生全員に「基礎演習Ⅰ」を必修として課しているが、担当教員によってその指導内容にばらつきが見られる傾向があったので、各教員の個性的な指導の特色を生かしつつ、大学での学習・研究に必要不可欠なリテラシーを全員に習得させるため、基礎演習の共通テキストを準備中である。これによって、4学科体制に移行した後の初年時教育をさらに充実させることができる。

学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

キャンパスミーティングの開催について、まだホームページ上で掲示できていない。「基礎演習Ⅰ」の共通テキストについては、現在数人の教員によって作成中である。大学での学び、論文レポートの執筆方法、調査・研究方法、統計データの作成方法、読書案内等の内容を盛り込んでいる。

学内第三者評価

認証評価結果でも長所として挙げられているキャンパスミーティングについて、「キャンパスミーティングの開催日程を学部ホームページ掲示する。(2007年度の追加記述)」の進捗状況に関する記述が求められる。2年次以降に学科が振り分けられることになっており、その基礎となる1年次の基礎演習Ⅰはきわめて重要な科目である。大学での学習・研究に必要不可欠なリテラシーを習得させることを目的とした「基礎演習Ⅰ」の共通テキストの作成およびその成果に期待する。また、テキストの作成にあたって、どのようなテキストとする予定であるのかについて記述が望まれる。

なお、学外委員からは以下の意見があった。
基礎演習Ⅰの共通テキスト作成は、初年次教育の充実につながるものとして評価できる。